

男女共同参画へ一歩いっぽ [パ・ザ・パ (Pas à pas)]

Pas à pas

No.

34

2020 March



国を越えて

文化を越えて

ことばを越えて

目次

● P2-7 特集 多文化共生

● P8-9 令和元年度企業表彰 等

● P10-11 多様な人材の活躍応援事業所紹介
株式会社山崎製作所

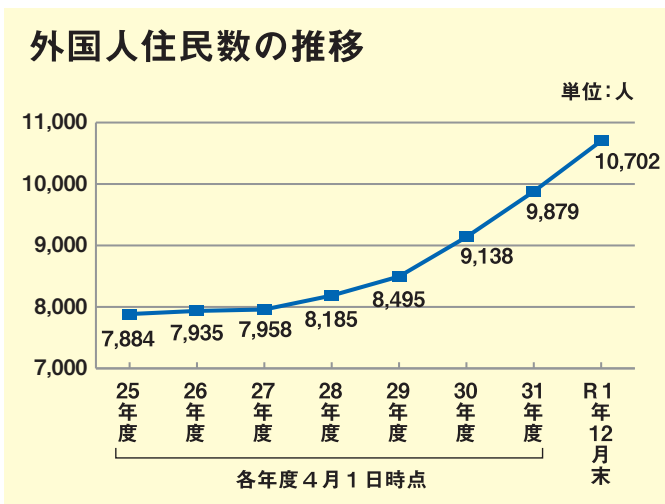
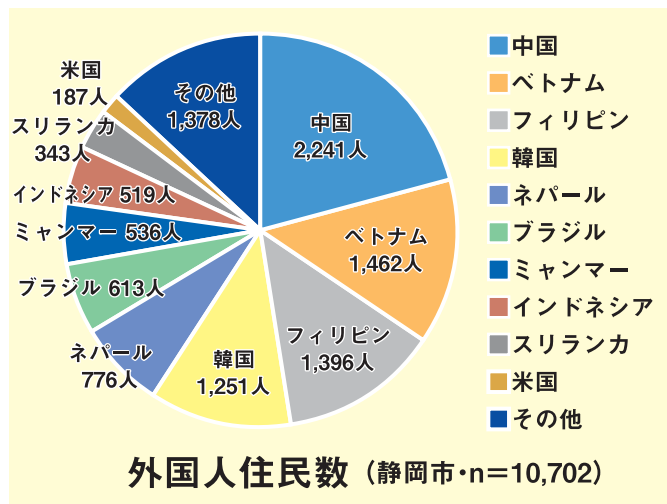
静岡市では平成25年以降、外国人住民数が増加しています。

さて、突然ですがここで質問です。

①あなたは静岡市にどんな国の外国人が住んでいるか知っていますか？

左下のグラフは2019年12月末現在の「静岡市の外国人住民数」の推移です。

2019年4月末には**1万人**を超えました(静岡市民の約70人に1人)。

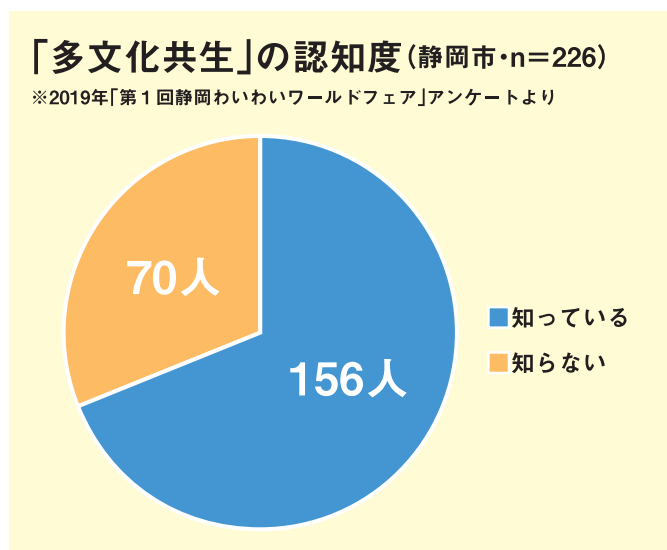


次の質問です。

②あなたは「多文化共生」ということばを知っていますか？

左下のグラフは、「多文化共生」ということばの認知度です。

多文化共生とは「日本人と外国人が同じ地域で、ともに暮らしていくこと」です。



いかがでしたか？
 静岡市では、多様性を尊重し、ともに暮らすまちづくりを「第3次総合計画」の重点プロジェクトの一つに掲げ、多文化共生施策に取り組んでいます。
 男女共同参画社会を実現するためには、国際理解の推進が不可欠であるため、男女共同参画情報誌パ・ザ・パ34号では「多文化共生」について紹介します。
 この情報誌を読んで、誰もが暮らしやすい「多文化共生のまち しずおか」について一緒に考えてみませんか？



静岡市が推進しているSDGs(国連で採択された持続可能な開発目標)の17の目標の一つに「人や国の不平等をなくそう」があります。

現在、国家間の経済格差は少なくなりつつありますが、所得や教育などでは、まだまだ大きな格差があります。また、年齢、性別、人種、宗教などによる不平等もあります。不平等をなくするためには差別的な法律や習慣をなくしていく必要がありますが、私たちができるはじめての一步として、まずは相手の立場に立ち、尊重し合うこと、理解することが大切ではないでしょうか。

現在、静岡市内で暮らす外国人は1万人を超えています。日本政府観光局(JNTO)の発表(2020.1.17)では、2019年1月～12月における訪日外国人数を3,188万2千人と公表しており、今年2020年はオリンピックの開催も後押しして、いろいろな国の人に会えるチャンスです。

普段「日本人ではないから…」と無意識のうちに心に壁をつくっているかもしれません。

まずは文化やことばの違いを知り、相手を理解する一步を踏み出してみませんか？

人や国の不平等をなくし、多文化共生実現のためにもいろいろな国や文化のことに触れてみましょう。

10 人や国の不平等をなくそう



パ・ザ・パ編集委員が静岡市のイスラム文化に触れられる場所、用宗の「静岡モスク」へ取材に行ってきました！

「モスク」とは、アラビア語でモスク(礼拝堂)の意味。日本でいうところの神社仏閣にあたります。

礼拝の様子や礼拝前のお清めも見させていただきました。日本でもお参りする前に手や口をお清めしますよね！

お清め

礼拝の前に洗い場(ウドゥ)で体を清める。手、口、鼻、顔、腕、髪、耳、足の順に洗う。モスクに来る前に家で洗う人もいます。



礼拝

1日5回、メッカ(聖地)の方向を向いてお祈りする。礼拝は心の解毒時間。(デトックスタイム)仕事の休憩時間にモスクへ礼拝に訪れる人もいます。



女性がスカーフを被る、モスクの入口は男女で別れているなど、イスラム教では性別に基づくルールがあります。

一見すると、不便な環境に思えるかもしれませんが、イスラム教では、男女を「生まれつき違うもの」と考えています。これは、違うからこそ、それぞれの特徴を最大限に活かし、お互いを尊重するという考えに基づきます。男女を同じ土俵に立たせることは「本当の平等ではない」という考え方が存在し、男女双方が生まれ持つ特性に即して、家族のあり方や責任分担などの役割分担をしています。



静岡市のモスクでは、日本文化とイスラム文化を装飾に取り入れています！



隠れ富士山のあるモスク正面



桜をモチーフにしたシャンデリア

文化を知ると面白いですね！

でも、言葉が違うだけではなくて、文化が違うからこそその困りごともあるかもしれません…

次ページから、国際ことば学院生徒のインタビュー内容とそんな困りごとを解決するための相談センターを紹介します！

国際ことば学院日本語学校へ

4人の学生さんにインタビュー

ティ ユエンさん(ベトナム出身)

- ①日本語が分からなくて、会話に困りました。文化的なことは、日本に来る前にインターネットで調べてから来ました。日本はとて素晴らしいイメージです。
- ②ベトナムにある日本の会社で働きたくて来ました。日本へ来る前に2年間日本語の勉強をしていたのですが、一度やめました。その後、地元で日本人のお客さんと接して日本語への興味が再燃して日本へ来ました。静岡へ来た理由は友達が静岡にいたからです。
- ③日本の会社で働きたいです。でも今はもう少し勉強するために進学するか、就職するか迷っています。
- ④生しらすと刺身
- ⑤男女平等でやっています。専業主婦(夫)もいますが、共働きが多いです。
- ⑥割り勘の時に、1円まで細かく割るところ。「ありがとう」「すみません」をよく使うこと。

ティンティン カインさん(ミャンマー出身)

- ①道や方向が分からなくて困りました。母国でも迷っていましたが、日本では表記の違い等で余計に迷いました。
- ②以前ミャンマーにある日本の旅行会社で働いていたとき、(会社で)日本語が上手な先輩が日本語を教えてくださいました。そのことをきっかけに、観光についても知りたくて、日本へ来ました。先輩から、静岡は温かく、優しい人が多いと聞いたので、静岡に来ました。
- ③大学の編入試験を受けて、大学を卒業したら母国へ帰って日本の企業で働きたいです。
- ④ラーメン
- ⑤家庭によって違いますが、多くの家庭では家事は女性の仕事で、男性は絶対にやらないという家もあります。
- ⑥母国では食事に誘った人が支払いますが、日本では割り勘が普通。コンビニがスゴイ便利です。母国にもコンビニはあるけど、公共料金の支払いまでできる日本はすごいです。日本はバリアフリー社会になっているので、車いすの人がなんでも自分でできるところも驚きました。

質

- ①日本へ来て困ったこと
- ②なぜ静岡へ来たのか、好きなのところは？
- ③将来の夢・日本で学んだ
- ④静岡で好きになった食
- ⑤母国の家事・子育ての
- ⑥日本に来て驚いたこと



ティ ユエンさん



ティンティン カインさん



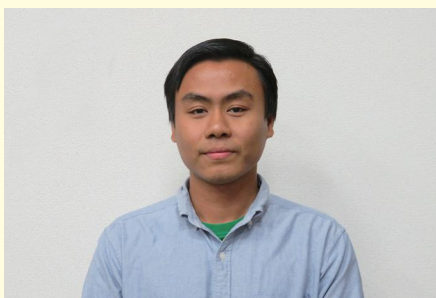
取材に行ってきました！

—にご協力いただきました。

問
は？
また静岡の良いところや
ことをどう活かすか？
べ物は？
関わり方は？
は？



ラフルさん



ソー モー チョーさん



ラフルさん(インド出身)

- ①日本語が上手ではなかったので、話すときにとっても緊張しました。日本人はきちりと交通ルールを守っていることに驚きました。治安もいいし、ごみを捨てないなど、責任をもって、規則を守っていることが素晴らしいと思いました。
- ②兄がインドで日本の会社に勤めています。大学で日本語を勉強しました。就職を希望している会社では高いレベルの日本語が必要で、国際ことば学院を勧められて静岡へ来ました。
- ③エンジニアの勉強をしながら更に日本語を勉強したいです。そして、母国に帰ってエンジニアの仕事と通訳の仕事をしたいです。
- ④ラーメン
- ⑤男性は外で仕事と買い物をし、女性は家事をします。
- ⑥誕生日パーティーを開催したら、母国では誕生日の本人が支払うが、日本では友達が支払ってくれるところ。時間も厳しいところ。遅刻できないし、工作中ぼーっとしていると注意され、空いている時間にも掃除などをして時間を無駄にしないところ。

ソー モー チョーさん(ミャンマー出身)

- ①日本へ来る前に少し日本語を勉強しましたが、実際に日本に来てみると、「分からない、話せない」で困りました。自転車に乗るときに、母国では右側通行でしたが日本では左側通行で、危ない思いをしました。
- ②日本にいる友達を通じて静岡へ来ました。ミャンマーでは日本語を学ぶことが流行っていて、日本に留学することを決めました。静岡は安心で安全です。
- ③母国に帰って日本語を教える教師になりたいです。
- ④ラーメン
- ⑤各家庭で役割分担をして、家事や子育てに関わっています。
- ⑥見えなくなるまでお辞儀をして見送ってくれるところ。

国際ことば学院日本語学校

住所：〒422-8076 静岡市駿河区八幡3-2-28
電話：054-284-8383 HP：<http://kotoba.ac.jp>



静岡市は外国人の方が安心して暮らせるように、

2019年9月2日に「静岡市多文化共生総合相談センター」を開設しました！

パ・ザ・パ市民編集委員が取材に行きました！

静岡市多文化共生総合相談センターの役割・特徴は…

- 外国人住民の生活に関わる情報を多言語で提供します
(相談例:子育て、教育、福祉等…etc)
- 外国語相談員が直接対応する他、**タブレット端末の導入**で、**14言語**での対応が可能に！

【英語,中国語,スペイン語,ポルトガル語,フィリピン語,フランス語,ベトナム語,日本語,韓国語,ネパール語,インドネシア語,タイ語,ヒンディー語,ロシア語】



外国語相談員(中国語)の声

「自分自身も日本に来て困ったことがあったため、自分の経験を生かすことができれば」という思いから、相談員になりました。

静岡市多文化共生総合相談センターで相談を受けるだけでなく、市役所内の他の部署に行き、通訳することもあります。

通訳するだけでなく、相手の文化事情も理解しなければいけないので、苦勞することもあります。相談者の悩みを解決できた時は、すごくやりがいを感じます。



日本人でも市役所の手続きなどでいろいろな窓口を歩き来することは、しばしばあります。言葉が通じない人はきっと、不安も大きいはず。そんなときにセンターの存在は心強い！！

異国の地で育ってきたからこそ、移住してきた人の気持ちもわかる。けれども、日本の文化もわかる。どちらかに引っ張られないような中立の立場で話を聞くことの難しさを実感することもあるとか…。その立場にならないとわからないこともありますね。

取材をしていて、仕事に対するプロ意識を感じました。

もし身近に、お困りの方などいたら、ぜひ紹介してみてくださいね！

【詳細】

- 所在地: 〒424-8701 静岡市清水区旭町6番8号 静岡市役所清水庁舎2階
(静岡市国際交流協会清水支部内)
- 電話: 054-354-2009 ●F A X: 054-352-0334
- 市 HP: https://www.city.shizuoka.lg.jp/000_002142.html
- SAME HP: <https://samenet.jp>



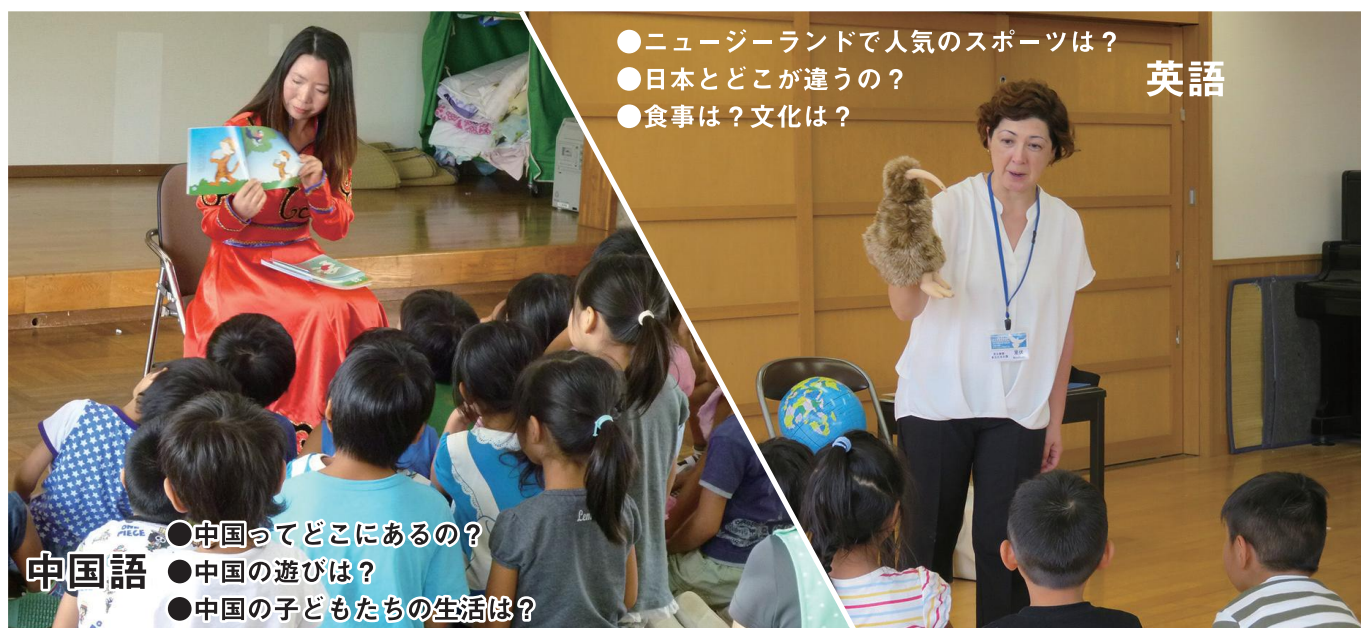
市 HP



SAME HP

静岡市では、異文化理解を促進するため、国際交流員を講師として派遣する

国際理解講座を実施しています！



中国語

- 中国ってどこにあるの？
- 中国の遊びは？
- 中国の子どもたちの生活は？

英語

- ニュージーランドで人気のスポーツは？
- 日本とどこが違うの？
- 食事は？文化は？

派遣先

市内こども園、保育園、幼稚園、生涯学習施設等

テーマ

子ども向け：中国・ニュージーランドの子どもたちの好きな遊び、食事や文化、愛されている絵本の朗読

大人向け：歴史、高齢者の日常生活、国際理解・ともに生きる地域づくり

問合せ

電話：054-221-1303

静岡市 国際理解講座

HP：https://www.city.shizuoka.lg.jp/000_002196.html



市 HP

多文化共生実現のために…

今後、国際化は一層進んでいきます。

外国人が同じ地域で暮らすことにより、日本人が世界の様々な価値観や考え方に触れ、国際感覚の向上につながる機会となります。

国籍・文化・言葉・宗教などの違いがあるのは事実です。

ですが、違いのある・なしにかかわらずお互いを認め合い、対等な関係を築くことで、ともに暮らすまちづくりの一步を踏み出してみませんか？

令和元年度企業表彰等



しずおか女子きらっ☆ブランド認定

女性が企画・開発したステキな商品を認定します。

令和元年度 認定商品(10件)

- 1 かみのせっけん あら・いーな／はぴり
- 2 蒲原屋謹製「和ナッツ」／蒲原屋
- 3 全粒粉とふすまのヘルシーベーグル／こないろ
- 4 手作り布おもちゃキット「ゆっこせんせいのおもちゃ箱」／一般社団法人布育普及協会
- 5 仁心(nico)の傘／株式会社藤田屋
- 6 濃縮チャイシロップ／梅ヶ島くらぶ
- 7 萩錦 土地の詩^{うた}／萩錦酒造株式会社
- 8 はさめるオーガニック布ナプキンシリーズ／
ミコリア Micoria



- 9 ^{ほっちゃ}8茶くらべ／株式会社静岡博報堂
- 10 FUJIOBIシリーズ(タンブラー・マット)／有限会社やましち

しずおか女子きらっ☆ブランド認定

検索



静岡市CSRパートナー企業表彰

CSR(企業の社会的責任:法令順守、環境問題への配慮等)に積極的に取組み、一定の要件や評価基準を満たす市内中小企業等を表彰します。

令和元年度 表彰企業(2社)



公南建設株式会社

【主な取組】NPO法人を立ち上げ、経営者自らが率先して地域貢献活動等に参加 等

服部エンジニア株式会社

【主な取組】働きやすい職場環境の整備や自社の取組みをステークホルダーに効果的に発信 等

静岡市 CSR

検索

をご紹介します



多様な人材の活躍応援事業所表彰

女性をはじめとする多様な人材の活躍できる環境づくりに積極的に取り組む事業所を表彰します。

令和元年度 表彰企業(4社)



大賞

株式会社山崎製作所

コミュニケーションを円滑にし、キャリアアップ体制を充実。女性ならではの仕事を創造し、高齢者も活躍できる職場に。一人ひとりの働き方をヒアリングし、柔軟に会社の制度を変更している。

特別賞

インフィック株式会社

子連れ出勤や外国人労働者の生活支援などサポートが充実。社内アンケートの意見を職場環境へ反映 等

静岡トヨペット株式会社

ママ社員の職場復帰をサポートする場の創出、女性も働きやすい環境を整備 等

奨励賞

村田ボーリング技研株式会社

福利厚生充実で、安心して働ける環境を提供。授産施設を積極利用 等

しずおかいきいきワークスタイル通信

検索



静岡市中小企業技術表彰

新規または独創性の高い技術を活かして活躍している静岡市内の中小製造事業者を表彰します。

令和元年度 表彰企業(5社)



株式会社ケーイーコーポレーション (機械器具製造業)

【受賞技術・製品】

FCRシステム(高鮮度冷蔵システム)

三基精工株式会社(金属プレス加工業)

【受賞技術・製品】金属プレスによる増肉加工技術

日本ニューノーズル株式会社(精密部品製造業)

【受賞技術・製品】精密射出成形機用部品

株式会社マイクロサポート(分析用機器製造業)

【受賞技術・製品】マイクロマンニピレーター及びアクセサリー

株式会社山崎製作所(金属板金加工業)

【受賞技術・製品】「三代目板金屋」シリーズ「KANZASHI」

静岡市 中小企業技術表彰

検索

多様な人材の活躍応援事業所紹介

円の組織を目指し、静岡から世界へ

株式会社山崎製作所

今回は、令和元年度静岡市多様な人材の活躍応援事業所表彰において大賞を受賞された「株式会社山崎製作所」代表取締役社長 山崎かおりさんにお話を伺いました。



代表取締役社長 山崎かおりさん

株式会社山崎製作所とは

1970年に設立した山崎製作所は、精密板金加工を行う総勢25名の町工場です。バブルの崩壊やリーマン・ショックの影響で経営が苦しくなっていた時、経理を担当していた私（山崎かおりさん）が会社経営に乗り出しました。「赤字を抱えた会社をどうにかしなければならない。」そう思い、女性ならではの視点で社内改革に着手しました。工場の設備導入やコミュニケーションを通じた改革を行ったことで、今では山崎製作所は、さまざまなメディアを賑わす存在感を放つ企業の一つとなりました。

「円」の組織を目指す

昔は社員同士の会話がなく、電話の音ばかりが鳴り響くどんよりとした会社でした。このままでは会社の発展は望めないと感じ、会社の理想像や自分の将来をゲーム形式で考える研修や社内アンケート等を実施しました。その結果、今では活気あふれる会社になりました。地域の産業を支える縁の下の力持ちで在り続けるため、全社員で創り上げた、「品質」、「プライド」、

「絆」を3本柱とした経営理念を掲げました。

理念を全社員で決めたのは、円の組織を目指しているからです。円の組織とは、一人ひとりが上司から言われて動くのではなく、自分が考え工夫をし、横（他の社員）と手をつなぎながらチームで動いていける組織を指します。人と会社は相互扶助です。日ごろから全社員に上下関係ではなく、横並び・チームの意識を全社員に認識してもらうことで、少しずつその円の大きさも広がりを見せています。



誰もが働きやすい体制へ

多様な企業に多様な人がいるのは当たり前と考え、誰もが働きやすい環境の整備について働き方改革が叫ばれるだいぶ前から取り組んでいます。社員は20代前半から70代までバラエティにとんだ年齢層で、環境も人生も性格も全く違う人が集まっています。

誰もが働きやすい環境にするためにはコミュニケーションや社風だけでなく、制度の見直しが必須です。取組例としては、女性や若手社員からの声を参考に、「1時間単位の有給休暇取得」、「LINE連絡での急な休暇取得」を可能にしました。また、2019年には会社指定休暇を導入し、休暇をなかなかとらない社員と相談をして、休暇取得の促進をしています。

そのほか年2回の上長面接の機会を活用し、

個々の事情を聞き取り、本人のスキルアップ（意識・技術）の課題を見つけます。コミュニケーションをとりながら課題等に柔軟に対応することで、社員がスキルアップする意欲を高めています。

現在、就業規則は社員がいつでも閲覧できる場所に置き、要望や状況に応じて、随時変更をしています。一人一人に寄り添っていくことが原則です。今後も山崎製作所の働きやすい環境づくりのための改善は続いています。



「自社ブランド「三代目板金屋」

2015年にプロジェクトチームである自社ブランド「三代目板金屋」を立ち上げました。これは、インテリアやかんざしなどのアクセサリに関する企画、デザイン、制作、営業、販売までこなす全員女性のチームです。専用の事務所が用意されており、女性でも使いやすい3つの機械を新たに導入しました。

従来のもので作りでは、男性が表に立って作り上げるものでしたが、「三代目板金屋」では女性が熟練職の技術を表舞台に出すことで、職人の誇りを取り戻しました。商品の「KANZASHI」はメディアで取り上げられることもあり、2017年にはしずおか女子きらっ☆ブランド認定商品に選ばれています。

「三代目板金屋」は女性の方で会社全体に3つの好影響を与えています。①板金職人・熟練職人の技能を世の中に発信し、新しい仕事を生み出す誇りとモチベーションを生む原動力になっている。②技能の継承をすることで、後継の若手の採用や、成長に結びついている。③完全下請から脱出し、自社独自の製品を作って販売できるようになった。

「三代目板金屋」の売り上げは全体の10%ほどですが、波及効果が大きく、今では日本各地のみならず、世界から受注を受けるようになっています。

男性がやっていた仕事を女性ができるようにするのではなく、女性が女性の力を活かせる仕事を生み出すことが大切です。女性ならではの感性は、かんざしの細部にも表れています。けがをしないように先端の加工を調整したり、肌に触れるものだから手触りを大事にしたりと、様々なこだわりとアイデアから素晴らしい商品が誕生しています。

「今後の展望

小さな町工場の会社だからこそ、社内外を問わず、一人ひとりと向き合い、お互いを認め、助け合うことを大切にしています。現在、静岡市内に新しい工場の建設を計画中で、より働きやすい工場を建設する予定です。

山崎製作所はこれからも一人一人を大切にする会社であり続けます。



株式会社山崎製作所

事業内容：製造業

所在地：〒424-0065

静岡県静岡市清水区長崎 241 番地

電話番号：054-345-2186

従業員数：25名（男性20名、女性5名）

ホームページ：<https://www.yamazaki-metal.co.jp>

男女共同参画情報誌 パ・ザ・パ 市民編集スタッフ大募集!

「Pas à pas (パ・ザ・パ)」とは、フランス語で「一歩、いっぽ」という意味。この名前のように、男女共同参画に関する様々なテーマの特集記事をとおして、静岡市の男女共同参画を進めようと作成している情報誌です。企画、取材、記事作成等、市民編集スタッフの方に参加していただきながら年2回発行しています。

そんな「Pas à pas (パ・ザ・パ)」を一緒に作ってみませんか? 男性や学生の方もお申込できます。

応募受付期間は3月1日(日)から3月31日(火)まで。

仕事の内容

①企画

特集テーマや記事の内容、ページ割り振り等を考えます。

②取材

特集テーマに沿って取材や座談会を行います。

③記事作成

企画・取材内容について記事を作成します。

※パソコンが苦手でも大丈夫です。



編集会議の様子



取材の様子

- 任期 第1回会議開催時(令和2年5月予定)から令和3年3月31日(水)まで
- 募集期間 令和2年3月1日(日)から令和2年3月31日(火)まで
- 応募資格 男女共同参画情報誌作成に興味のある市内在住、通勤、通学の18歳以上の方
- 編集会議及び謝金 年10回程度(主に平日昼間)会議1回出席につき、2,000円
- お問合せ 市民局男女参画・多文化共生課
TEL:054-221-1349 Eメール:sankaku@city.shizuoka.lg.jp



パ・ザ・パ34号へのご意見・ご感想をお寄せください。